
真・恋姫†無双 外伝 OTM(オトメ) 48 オリ武将だらけの恋姫世界へ!

池宮樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真・恋姫十無双 外伝 OTM48 オトメ オリ武将だらけの恋姫世界へ！

【Nコード】

N4154BA

【作者名】

池宮樹

【あらすじ】

使用上の注意

以下の事に抵触した方はすぐに読むのをやめて即バック後、他の素晴らしい作品で目を濯がれることをお勧めします。

・ 作者は真・恋姫十無双を2次小説でしか知りません。おかしなところがあってもやさしく教えてください。

- ・ 同じく作者はAKB48についてもほとんど知りません。詳しい方でお気を悪くされたかたおられたら即バックお願いいたします。
- ・ 作者は三国志もそこそこしか詳しくありません。間違ってたら優しく教えてください。

- ・ いつ更新が停止するか分からないことで定評のある池宮の2次小説です。逆にいつ止まるのかな？くらいのテンションで次をお待ちいただけると心置きなく手を止める事ができますのでそのおつもりでお願いします。

- ・ いつものように引き取り手の方を随時募集しております。ご連絡お待ちしております。

1話 お決まり転生、巻きで参ります（前書き）

冒頭部分なのですが、若干ご不快に思われる方がおられるかもしれません。

伏線ですのでご勘弁願います。

では始まりです。

1話 お決まり転生、巻きで参ります

ゴミや脱ぎ捨てた服などが散らかり放題の薄暗い部屋をパソコンのディスプレイからの光りが映し出している。

「あ~~~~~、AKB萌え~~~~~!」

そう叫んだこの部屋の主、彼の名を内藤^{ないとう} 星斗^{せいと}という。

見た目肥満、中身メタボ、職業自宅警護という3拍子揃ったエリートニートである。

彼の好きなものは分かりやすい。

一つ、AKB48のようなかわいい女の子たち。

一つ、女性にはあまり大きな声では言えないゲームやそこに出てくる女の子達。

一つ、ハンバーガーやポテトチップスといったジャンクフードである。

彼とて好きでニートなわけではない。彼は元々ある企業でシステムプログラマーの仕事をしていたのだが、その仕事場でのあまりのハードワークに体と心を病んでしまい、なし崩し的に退職後今の状態に落ち着いてしまったのである。

ちなみに外注ではあるがプログラムの仕事を今でもしているので自分はニートではないというのが彼の口癖の一つである。

そんな彼の口癖は少なくない。

「働きたくないでござる！」とか、「お外怖い！」とか、「〇〇超萌え〜！」とか数え上げればきりがない。

そしてその日、そんな彼の口癖の一つが、文字通り死の引き金となった。

某有名美少女ゲームをしながら一言、「テンプレ転生したいでござるー！」

そういった次の瞬間、彼の耳に、いや脳に直接語りかけてくる声が聞こえた、ような気がした。

(本当かの〜?)

そしてオタク特有のあまりにも軽いノリで返してしまったのだ。

「あつたりまえだ！」と。

(……言質とつたぞよ!)

201X年 2月18日 内藤 星斗 25歳 死亡 死因は心筋梗塞。

原因がその食生活と生活習慣にあったことは言うまでもなく、誰にも無縁同居中だった両親にも一切疑われる事なく、社会的に粛々

と一連の行事が行われて彼は現代日本から退場させられたのだった。

(・V・)

次に星斗が目覚めた時、そこは見慣れた自分の部屋ではなく何だかよく分からない山の頂上のような場所であった。深山幽谷という言葉がぴったりと来るそこで二人の老人がパソコンのディスプレイを覗き込んでいるという異常事態が繰り広げられていた。

「……誰あんたたち？」

軽い対人恐怖症気味の彼だったが、さすがにその場の異常さに夢だろうと思い聞いてみたところ返ってきた答えは意外なものであった。

「おお、目覚めたか！ 同士よ！」

声をそろえて叫ぶしわがれた、それでいてなんともいえない力を放つ二人の老人。

「同士よ！ 落ち着いて聞いておくれ」

迫ってくる二人の老人に星斗は後ずさりしてしまう。

逃げる肥満体の男、追う爺2人。絵にも何にもなったものではない。

しばらく続いたそれは星斗の背中が硬いもの、大きな岩壁につい

てしまった事で終結する。

そして迫りくる老人二人からもたらされたのは、ある意味で福音、ある意味で地獄への片道切符であった。

「同士よ！ そなた死んでしまったぞよ」

(・v・)

その後は皆さんの想像通りの展開であった。老人2人は人間ではなく神であった事、心筋梗塞で死ぬ予定であった星斗をもつたいなく思い転生してもらおうとこの場所に呼んだこと。ちなみに何故そのような事になったのかというと老人二人の趣味と星斗の趣味はがつちりかみ合っており、ネット上で仲良くやり取りする仲だったのである。

ちなみにひよろつとした背の高い老人の名前を北斗。背が小さく小太りの老人の名前を南斗というそうである。ハンドルネームはそれぞれ h o k u t o と n a n t o 。色々碎けすぎな老人？ たちであつた。

老人達と星斗の話し合いは3日3晩夜を徹して行われ結果こういうことになった。

・ 転生するのは『真・恋姫十無双』の世界。

・ お決まりのチートはこれから行く世界、これより通例に従って外史と呼ぶが、そこには原作せずとも無数の武将達が存在している。そんな三国志の英傑達を48人まで自分の配下として加えられるというもの。無論彼らがAKB48好きだったから決められたものである。

「とうわけでわし等は直接干渉するのは難しいが頑張つて第2の人生を楽しんでくれ！」

「おう！　ありがとな！　爺さん達！」

そんな風に言葉を交わして分かれた彼ら。

さて、内藤　星斗君の新しい人生どうなります事でしょうか……。

(・v・)

俺の名は劉璋。字は季玉、真名は星斗。いわゆる一つの転生者だ。目標はきれいでかわいいお姉ちゃんに守られながら天下統一！　いつまでも引きこもりとは言わせないぜ！

1話 お決まり転生、巻きで参ります（後書き）

完全なる駄文にお付き合いいただきありがとうございます。

この話の押し要素としては、

主人公が嫌われ者扱いの劉璋とかどうよ？

むしろすがすがしいくらいにオリ武将で固めるのとかどうよ？

後は48って時代の流れに乗ってみたらどうよ？

となっております。

2話 現状説明と1人目（前書き）

そんなこんなで書けたので投稿です。

いつ止まるのか自分でもドキドキです。

2話 現状説明と1人目

というわけで劉璋になりました内藤星斗25歳です。

赤ちゃんプレイの辺りはスルーでお願いします。俺が恥ずかしいのと「書くのがメンドクサイ」という電波な宇宙意思を感じるので。

まず状況の説明から。現在俺は7歳。住んでいるのは益州の州都であり、後の蜀漢の首都であった成都の宮殿。……俺は恋姫の影響で三国志は演義、正史問わず随分調べたんだが、その知識によると本来劉璋はこの時期確か長安にいるはずなんだけどとかいうのは既に無い方向らしい。さすが外史、原作で分からないところは予想もつかない。そして父ではなく母だった劉焉は既に権力者の末期症状を呈していて見ていて泣いてくるのだが、俺には優しい母なのでできるだけ長生きして欲しいと思いつつもそう長くはないんだろうなあと思う。毎夜の酒の飲み過ぎでかなり顔色がやばいのだ。……おそらく肝臓の病気だと思う。

黄巾討伐の時までは生きてたはずなのに……ていうか州牧制を提唱した人のはずなのに……その辺どうなってるんだよ！ 外史！

まあ恋姫原作でもこの後、劉璋つまり俺が州牧になるのは規定のラインなのでその辺は心配してないんだが、それは今後頑張るといふ方向で。人生なるようにしかならないからな。

「……星斗様」

それにしてもこの慣れ親しんだ体型は何かならないものか。生まれ変わってから前世の不摂生を反省して結構運動してるのに未だ

に体型が小太りなのが凹む。あれか！　これが噂の劉璋補正という奴か！

「星斗様！」

「うおお！　……誰かと思ったらみなみか！」

「南か！　ではごいません！　学問の時間でございますよ！　では参りましょう！　先生はとうにお待ちになっております！」

そうやって俺の襟首を掴んで引きずっていくこのパワフルな女の子はダブルの意味で驚きの女の子だ。何故なら姓を王、名を累。そうです、劉備の入蜀を逆さ吊りになって諫めたあの王累さんなのです。さらに真名を南みなみというのです。

そして見た目はポニーテールでリボン、ちょっと顔つきがヤンキーぽいって……。どこのキャプテンだよ！　初めて側つき兼学友として紹介された日にはさすがに椅子から転げ落ちたわ！　「たかおな」かよ！　と！

もう初めて会った日には死ぬほど興奮したね！　いい世界に送ってくれてありがとう！　じい様たちってなもんでさ！　だってあの「たかおな」そっくりの女の子が俺の側付き！　幼馴染だぜ？　何のフラグだよ、マジで。オタクの夢だろ、それはって感じだろ？　そう思わないかチミ！　……ただなあ。

彼女、王累だからかそれとも「たかおな」そっくりだからかわかわかないけど、性格は真面目なんだよね。もうすっごい真面目、マジで融通利かないの。そして今日も俺はそんなみなみに引きずられながら先生のところへ向かうのです。あゝ、ドナドナの気分。どっ

ちかというとな俺の見た目は子牛というより子豚さんなんだけど。

追伸 彼女をからかうとかわいいのは仕様だと思えます。

史書は語る。

中漢から後漢に移行させた天武帝 劉季玉一番の忠臣といえども
違いなく王累であったであろう。彼女は幼少のよりより彼の側にあ
り、天武帝自身がたびたび認めているよう怠け者であった彼を諫め
続け最後には大陸を治めるまでに至らせた元勳である事に疑いはな
い。

2話 現状説明と1人目（後書き）

感想、ご指摘、お待ちしております？

3話 農業 やってみると楽しい(前書き)

なんかあんまり考えなくても書けるので楽です。

今回追加の女の子は出てきません。

3話 農業 やってみると楽しい

燦燦と照りつける5月の太陽の下で俺用に作ってもらった鍬を振る。吹き抜ける一陣の風が農作業でほてった頬に当たるのが気持ちいい。山国である益州の初夏、この季節は何をするにも気持ちがいい。大きな視点で見ると益州全体が山間、もしくは盆地であるためこのように過ごしやすい季節というのは本当に貴重なのだ。

さて突然元引きこもりで運動嫌いは言わなくても分かっただろう俺が何故いきなり農作業を頑張っているのか疑問だと思うので、それに答える事にしよう。

理由は簡単。暇なんです、この世界。

毎日学友兼幼馴染のみなみと一緒に勉強と軽い運動くらいしかすることがなく、前世の日本のような娯楽などほとんどないのが実情大人になってからこそインドア最高が座右の銘の俺だったが、さすがに幼少期まで完全なインドアだったわけじゃなく、小さな時は外で遊ぶのも好きだった。

そして今の俺は7歳。正直体に引つ張られましたよ。だからといって街の子供たちに混じって遊ぶわけにはいかないですよね、一応ご領主様の息子だから。

というわけで俺は4歳の時、母上に願い出て城内に俺専用の小さな農園を作ってもらい、そこで将来に向けた実験を始めた。といっても子供の俺のやる畑だからそう規模の大きな物じゃない。ただやっつる内容は決して小さくはない。だって具体的に何をしているかというところ……輪裁の実験だからである。

ああ、そうですね。内政ものの転生チートの定番の一つ、輪作ですとも。テンプレ乙！と言ったその君、ありがとう！否定はまったくできない！さらに当然肥料の研究もやってますよ、はい。さらにさらにこの時代あまり行われていなかった水田を作ることに着手し、これも2年越しではあるが結果が少しずつ出てきている。しかも合鴨農法。今ではその結果に役人の中で農政に携わるものが仰天して、次は少し大規模な実験をということで話が進んでいるくらいだから。

さらに機械化する前の日本で使われていた農機具なんかも頑張っ
て思い出して再現したところこれの評判もやっぱりすごかったんで
す。特に踏み車と千歯扱きが大絶賛されました。日本の農が本家中
国に認められた！ということでごッソポーズしたのが懐かしい。

おかげで劇的に農業生産性が上がりそうだとは前述の農政担当者の
談。

誰だったけ、ド忘れしたんだけどまあ要約すると「農業の生産性
の上にいるんな政策を考えるのが正解で、農業の代わりに商業を据
えようとした国は滅びる」とか最近習った気がするので、いい事を
したんだと思う。

それにしても自分でやってみて思うのだが、一刀さんがこれを進
言してそれをそのまま採用したとしても結果が実感できるほど変わ
るのにはそれなりの時間が必要だし、そもそもいくら有用そうな技
術や知識であつても段階的に試して行くのが普通なのが普通なもの
なんで奴の提言はすぐに結果が出るのかね？魔法か何かかね？
と思わざる得ないね。農業は1日にしてならずですよ、前世のお
百姓様たち色々ありがとう。

まあとにもかくにも自作の麦藁帽子をかぶりながら今日も農作業に精を出す俺なのだった。

史書は語る。

天文帝の最初の偉業というべきは国の根本たる農業に対する数々の発明であるといえる。生涯軍事面での才能をあまり見せなかつた彼であつたが、内政面ではまさに神童、天の子というにふさわしく数々の画期的な発想の農法や道具を用いて彼の国の農政に多大な貢献をなしたことが彼の覇業の第一歩だつたといえるだろう。

3話 農業 やってみると楽しい(後書き)

感想、ご指摘、お待ちしております？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4154ba/>

真・恋姫†無双 外伝 OTM(オトメ)48 オリ武将だらけの恋姫世界へ

2012年1月12日02時53分発行